

No. 1

税？そんなの我が家の出費を増やしているくせに無駄遣いが多く、おまけにちゃんと自分達に払っただけのサービスが戻っているのかを実感しにくいぼったくり。そんなイメージを私は持っていた。しかし、最近になってようやく税が存在する意義と役割を知ることができた。それはなぜか。私の父はいわゆる医療従事者である。しかも直接患者を診察する医者としての。だが、新型コロナウイルスによってその職場は我々家族にとって、不安な場所となってしまうた。そんな時、不安を取り払ってくれた心強い味方が現れた。ワクチン接種だ。優先的に医療従事者に接種を行ったため幸い、父は新型コロナウイルスに感染することも無く無事に二回目の接種が終了した。この時、私は初めて気付いた。ワクチンを父がお金を払わずに接種していた事に。しかも学校で配られたワクチン接種の案内にも接種が無料と書かれている。一体、誰がこの費用を負担しているのか。母に聞くと「税

No. 2

」の一言が返ってきたのだ。税か！その時、私は払った分だけサービスとして戻っていることを実感した。いや、我が家が払ったお金だけではない。親族だったり友達だったり顔も名前も知らない人だったり：。色々な人が納税をしているからこそワクチンを、無料で打てるのだと感じた。調べてみると令和三年度の国の歳出には新型コロナ対策予備費として五兆円が当てられている。例年なら無かったであろうサービスが、今の社会から求められている事に応じて使い道を変更している。だからこそワクチン接種の無償提供が行われているのだと感じた。また、無償ということは経済的な面での弱者も他の人と同じようなサービスを受けることができ。これは税を色々な国民から集めているから成り立つサービスだと言える。このように人々が国に「納税」という形でお金を払い国が人々に「サービス」という形で変化させたため、個人だけでは得ることのできない社会保

No. 3

障サービスが存在している。これらは今では必要不可欠なサービスという人も少なくないだろう。その他にも様々なサービスがある。自分自身が気付いていないだけで目を向ければありとあらゆる所に税が変化している。税は極めて重要であり決してぼったくりでは無いと知らしめられた。ただ、現代において重視されているのはいかに小さな資源で大きな幸せを提供できるかだ。今後は少子高齢化による社会保障費の増加もあるため今のうちから早めに対策をとる必要があると考える。ではその具体的な対策とは何か。無駄な歳出を減らすことだ。そのために私は学校備品を大切に扱うべきだと考えた。備品の修理代が減ることで助けを必要とする人に税が行き渡るからだ。税は私達のためにある。だからこそより多くの人が税への関心を持つことが大切である。今後の社会が多くの幸せで満ち溢れるためにも。